D-Diode Type II

Direx
JAPAN DIREX CORPORATION

低コストで展開が容易なデータダイオード
実効速度 約1.5Mbpsモデル

低コストでセキュリティを強化

重要な OT デバイスは守りたいが、アラームや稼働情報を外部に転送したいというニーズに対応できる低コスト、高セキュリティなソリューションです。OT ネットワークへの物理的な通信路を無くして、外部ネットワークへの一方向通信を実現します。

プロトコルブレイク（非 IP 化）を実現

・データダイオードの必須要件である IP 系通信の完全分離
・非 IP プロトコルによる IP アドレス情報を外部へ出さないプロトコルブレイクを実装しています

一方向通信装置 D-Diode Type II は、サーバとクライアントの間に配置される中間装置で、サーバ側ネットワークからクライアント への侵入を確実に阻止することを目的とする装置です。

従来のType I （460kbps)に比べ、Type II は4倍の転送を有します。（クロック速度：2Mbps 、最大実効速度 約1.5Mbps）
この装置の機能構造として、TCP（UDP将来追加）プロトコルに適用できるように「サーバーエミュレータ部」と「クライアントエミュレータ部」を有し、それぞれクライアント機とサーバー機の間のTCP通信をエミュレートして終端します。

装置内では、クライアント端末から受信したデータを「サーバエミュレータ部」でシリアル化されたデータ（Etherヘッダ、IPヘッダを取り除きペイロード部のデータのみを調歩データ形式）に変換し、「クライアントエミュレータ部」へと送り、再度IPパケット化されてサーバに送信されます。

逆方向のデータに関しては、ファイアウォールのように論理的にアクセスを禁止する方法ではなく、この装置自身が物理的に片方向のデータだけを伝送する完全一方向となっており、確実に侵入阻止を実現しています。

＊OPC-DA、OPC-UA、MODBUS-TCPなどの産業用プロトコルのサポートについては弊社営 業にご相談ください。

D-Diode Type II

主な仕様

機能仕様	論理ポート数	1 論理ポート (TCP) ※UDP 将来追加
	Ethernet ポート	RJ45×2 ポート , 10BASE-T/100BASE-TX (auto) , MDI/MDI-X (auto)
	対応プロトコル	TCP (stream) ※UDP (stream) 将来追加
	表示機能	LED：PWR , STAT , SD , RD
	ボタン	RST
	一方向転送インタフェース	RS485 (一方向転送) , クロック速度：2Mbps (最大実効速度 約1.5Mbps)
	コンソール	SSH (ID , Password)
	監視機能	アプリケーションログ、OSログ等の各種ログ
機器仕様	寸法	213mm(W)×190mm(D)×44mm(H)
	重量	約 1.6kg
	電源	AC100V ～ 120V ± 10%
	最大消費電力	6W
	発熱量	20BTUs/h
	動作周囲温度	－10℃～＋50℃
	動作周囲湿度	10% ～ 90%（但し、結露のないこと）
	保存温度	－30℃～＋85℃
	保存湿度	10% ～ 90%（但し、結露のないこと）
その他	設置	卓上型（ラックマウントキットによるラック実装可）
	筐体	トルクスネジ使用

日本ダイレックスについて
1973 年創業以来「トラフィック計測分析と予兆解析技術、及びそのプロセス・メソドロジー」を追求してきたのが日本ダイレックスです。
見えないネットワークの世界を見える技術に置き換える「リアルタイム・ネットワーク・インテリジェンス分析」が当社の強みです。
これをベースに、通信品質ソリューションとセキュリティ・ソリューションを提供しています。

Direx
JAPAN DIREX CORPORATION

日本ダイレックス株式会社 ISO9001認証取得
〒135-0064 東京都江東区青海２丁目４番３２号 タイム２４ビル 4F
TEL 03-3242-3157 Email sales@direx.com URL https://www.direx.com